

平成29年度

専門学校盛岡カレッジオブビジネス

自己点検結果報告書

平成29年度自己点検・評価結果報告について

ここに学校法人龍澤学館専門学校盛岡カレッジオブビジネスの自己点検・評価結果を公表
致します。

学校法人 龍澤学館
理事長 龍澤 正美

1. 学校の教育目標

『地域・社会の発展に貢献できる人材の育成』

学校生活を通して「人間的成長」を目指す。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

社会人基礎力として「基礎学力の向上」と「社会人基礎力の向上」、専門能力発揮に向けて「専門能力の習得と実践的活動」、地域の一員としての自覚を備えるために「地域連携と地域貢献」を基盤とした教育を進めていく。

3. 評価項目の達成及び取組み状況

※適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

(1) 教育理念・目標

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	学校の理念・目的・人材育成像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
2	学校における職業教育の特色は何か	4
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4
課題	教育理念・育成人材像等について学生・保護者に提示をしているが、入学当初の周知のみであり、特に保護者に対する継続的な認識を促す対策が必要である。	
改善策	学期末の保護者宛文書や定期的な面談実施等の機会を活用し、今後は継続的な教育理念及び育成人材像等の周知徹底の手法や取組みを検討し、実施していくこととする。	

(2) 学校運営

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4

3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4
課題	組織体制は整備されているが、教職員が一丸となって教育目標の達成のためには、機能の効率化を図る必要がある。	
改善策	校内組織体制の整備のみならず、規則や業務分掌・校務分掌を定め、定期的に機能性や成果について、面談及び会議にて確認する機会を設けていくことを検討する。	
改善策	教育活動の情報公開については、体系化を強化し広報媒体を活用して情報公開できるよう検討を進める。	

(3) 教育活動

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
2	教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
6	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4

9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4
課題	高い資格取得実績を目指し、目標に掲げる人材育成を行う指導体制として、人員的不足が課題として挙げられる。	
改善策	効果的な指導体制に関して検証を行い、連携活動における協力者の方々や、教育編成委員会や学校教育評価委員会等の外部委員の方々の助言等もいただきながら、人員確保に関して検討を進める。	

(4) 学修成果

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	就職率の向上が図られているか	4
2	資格取得率の向上が図られているか	4
3	退学率の低減が図られているか	4
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3
課題	卒業生の活躍把握やキャリア形成効果把握について、一部学科にて卒業生同窓会の開催企画を実施し状況把握機会を設けることができたが、未だ部分的状況である。	
改善策	卒業生の全体的把握に向け、卒業生同窓会開催や内定先企業訪問、調査はがきを郵送するなどして状況把握の仕組みを整備していくように進める。	

(5) 学生支援

	評価項目	自己点検・
--	------	-------

		評価結果※
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
6	学生の生活環境への支援は行われているか	4
7	保護者と適切に連携しているか	4
8	卒業生への支援体制はあるか	3
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4
課題	学生の健康管理を担う組織体制は現状では整備できておらず、対策が必要である。	
改善策	校務分掌にて体制整備を進める他、様々な観点から学生健康管理の対策を講じていくこととする。今年度より設立した教職員の安全・衛生委員会での活動も活用していくこととする。	

(6) 教育環境

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
3	防災に対する体制は整備されているか	3
課題	防災に対する体制として、訓練実施は簡易的な内容に留まっているため、対策が必要である。	
改善策	防災対策に関する計画を立て、関係各署と連携を取りながら、定期的な防災訓練・避難訓練の実施を進めていくことを検討する。	

(7) 学生の受入れ募集

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	学生募集活動は、適正に行われているか	4
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
3	学納金は妥当なものとなっているか	4
課題	学納金は妥当なものとなっているが、定期的な検証が必要か検討する。	
改善策	学納金について検証できるよう、法人本部と連携を図りながら検討していく。	

(8) 財務

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4
課題	法人本部で財務について適正に管理しており、財務情報についてはホームページで公開している。	
改善策	法人本部と今後も連携を図っていくこととする。	

(9) 法令等の遵守

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4

4	自己評価結果を公開しているか	4
課題	個人情報の保護は徹底されているものの、管理規定に不明確な部分もあるため、保護対策を検討する必要がある。	
改善策	個人情報保護対策と自己評価に対しての改善策を徹底していくための体制を整える。	

(10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4
課題	教育訓練制度に関して、平成30年度よりトラベルビジネス科及びパティシエ科において教育訓練給付制度の認可を得ることができ、再進学希望の入学者ニーズに応えるべく教育体制を整備している。	
改善策	今後も社会や地域のニーズに応えられる社会貢献・地域貢献活動に協力していくこととする。	

(11) 国際交流

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4
2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	3
3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	3
4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3
課題	留学生受け入れは本専門学校グループの重点目標ではあるが、当面は国際ビジネス科の認知度向上に向けた対策が必要である。	

改善
策

平成 29 年度から設置の国際ビジネス科では、長期留学設定のある日本人向けコースと、留学生受入れの 2 コースがあり、それぞれの入学対象者に向けた学校紹介手段や方法について、法人本部とも連携と検討を図り、段階的に対策を図ることとする。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

重点目標として掲げた「基礎学力の向上」、「社会人基礎力の向上」、「専門能力の習得と実践的活動」、「地域連携と地域貢献」を基盤とし、教育活動の成果を確認することができている。

本校は職業実践専門課程認可を受け、自己点検委員会の開催を始めてから 4 年目であるが、継続的な課題である、「人材育成のための指導体制の構築」、「卒業生に関する状況把握及び働きかけ」等について、段階的に課題解決のための取組みを実施してきたが、今後も時代や社会の変化に順応しながら課題発見と、それぞれの改善策を講じていく必要がある。

平成29年度

専門学校盛岡カレッジオブビジネス

学校関係者評価委員会結果報告書

平成30年2月

学校法人龍澤学館
理事長 龍澤 正美

平成29年度学校関係者評価 報告

学校法人龍澤学館 専門学校盛岡カレッジオブビジネスでは、本校規定に基づき、学校関係者評価委員会を実施致しました。以下に、その内容を報告致します。

今後は、各委員からの意見や指導等を真摯に受け止め、より良い教育、より良い学校運営を目指し、教職員一同努力して参ります。

引き続き、一層のご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

1. 学校関係者評価委員

氏名	企業・団体名	部署・役職
中村 正樹	盛岡商店街協同組合	事務局長
高橋 学	株式会社北日本銀行	人事部長
新沼 翼	株式会社盛岡シティホテルズ ホテルロイヤル盛岡	
朝賀 愛理奈	アイ・ケイ・ケイ株式会社 ララシャンスパルアミー盛岡	
佐々木 敏輝	株式会社近畿日本ツーリスト東北 盛岡支店	
佐々川 未来	株式会社ヌーヴ・エイ TiCTAC 盛岡店	
佐々木 七彩	株式会社北日本銀行 矢巾支店	
松原 葵	株式会社タルトタタン 八幡町本店	
工藤 昌雄	専門学校盛岡カレッジオブビジネス	校長
畠山 英之	専門学校盛岡カレッジオブビジネス	校長代理
角津田 寿恵	専門学校盛岡カレッジオブビジネス	事務局課長
中山 将孝	専門学校盛岡カレッジオブビジネス	教務課長
工藤 恭人	専門学校盛岡カレッジオブビジネス	教務主任

2. 委員会次第

- (1) 開会
- (2) 校長挨拶
- (3) 開催趣旨説明、委員紹介
- (4) 平成29年度学校関係者評価結果について
- (5) 意見交換
- (6) その他

3. 議論内容

本校の教育理念・目標と平成29年度に定めた重点目標と計画について説明を行った後、「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえて作成した評価項目による自己点検・評価の結果に基づき、評価項目ごとに達成状況や取組み状況、改善策について順次、外部委員の皆様と議論を行った。

①教育理念・目標

学校の教育理念・目的・人材育成像については、高い評価をいただくことができた。外部委員の方々からも、職業教育の特色や社会ニーズを考慮し、学生成長を前提にしながら教育活動に取り組んでいる内容は全国的にもトップレベルであることに賞賛の声と、今後の期待を込めた激励をいただいた。しかし、保護者への周知の点で継続的な課題であることを再確認し、今後も周知徹底の主要な取組みを検討し、実施していくこととした。

②学校運営

事業計画を策定し、組織体制やコンプライアンス順守等に関して、適正に運営にされているため、今後も継続していくことで確認した。外部委員からは特に意見はでなかった。

③教育活動

職業実践専門課程に認可されて4年目となり、教育理念や業界ニーズに基づいた体系的カリキュラムや職業教育の構築が進み、安定した教育活動に取り組むことができていることを確認した。しかし、指導体制の教員確保について継続的に課題になっていることを説明したところ、外部委員からは、学校や教育活動の魅力の要素として、指導力があり経験豊富な教員存在の影響が大きいことを確認することができた。そこで、引き続き、連携活動における協力者の方々や、教育編成委員会や学校教育評価員会等の外部委員の方々の助言もいただきながら、人員確保に関して検討を進めることとした。

④学修成果

卒業生の社会的な活躍や評価の把握は不十分である継続的課題はあるものの、平成29年度は一部学科にて試験的に卒業生同窓会の企画を立て実施をした経緯を説明した。今後は全学科での開催計画や、学校設立周年を活用した開催計画についても説明を行った。外部委員からも「卒業生の存在は重要であり、社会で活躍し学校に対して大いなる貢献していただける存在でもある」旨をお話しいただき、取組みの必要性を再確認することができた。

⑤学生支援

概ねの項目において、環境を整備し、再編を重ねている支援体制については高い評価をいただいた。健康管理を担う組織管理については現状では整備できておらず、外部委員からも指摘をいただいた。そこで、平成29年度より設定した教職員「安全・衛生委員会」での活動を活用することや、学校として設定している「学校保健計画」をもとにした学生健康管理の対策を講じていく計画について説明を行った。

⑥教育環境

施設・設備に関しては、教育上必要なものは整備されている一方、防災への対策としての訓練実施は簡易的な内容に留まっているため、具体的な年間スケジュールを立て、関係各署と連携を取りながら、定期的な防災訓練・避難訓練実施を予定していることを説明した。外部委員からも「防災教育」も大事な教育的要素であり、社会人の素養として必要性が高まっていることを助言いただいた。

⑦学生の受け入れ募集

学生募集活動は適正に行われ、教育成果を様々な手法で情報発信していることを確認した。学納金については、今後も定期的な検証を行い取り決めていくことを説明した。外部委員からは特に意見はでなかった。

⑧財務

法人本部で財務に関して適正に管理しており、ホームページで財務情報を公開していることを説明した。外部委員からは特に意見はでなかった。

⑨法令等の順守

社会背景を考慮した、個人情報や各種管理規定等、正しい法令を順守する取組みが行われていることを確認した。また、自己評価委員会を実施し、問題の改善にも努めていることの再認識をしていただいた。

⑩社会貢献・地域貢献

概ね、いずれの項目においても高評価をいただくことができた。加えて、平成30年度よりトラベルビジネス科とパティシエ科は教育訓練給付制度の認可を得ることができ、再進学希望の入学者ニーズに応えるべく教育体制を整備していることを確認した。外部委員からは特に意見はでなかった。

⑩国際交流

国際ビジネス科の認知度がまだ低いことが課題であり、認知度向上に向けた対策が必要である状況を説明した。外部委員の方々からは、国際ビジネス科は、近年の社会的ニーズや教育的展望を見据えた時に、興味関心度の高い分野であるため、入学者増加の可能性がおおいにあることを指摘いただくことができ、学科設置及び認知度向上対策の必要性について再認識することができた。

4. まとめ

自己点検の評価項目について、状況報告及び改善策の説明を行い、外部委員の方々からは概ね高い評価をいただくことができた。しかし、『③教育活動』『④学修成果』『⑤学生支援』『⑥教育環境』『⑩国際交流』等の項目において、課題として挙げられ、助言をいただいた内容については、検証と具体的対策を講じ、計画的に改善できるよう、努めていくこととする。

そして、「地域・社会やサービス業界で寄与できる人材の育成」を教育目標として、より充実した教育活動と高い学修成果を目指し、教育環境の整備に取り組んでいきたい。